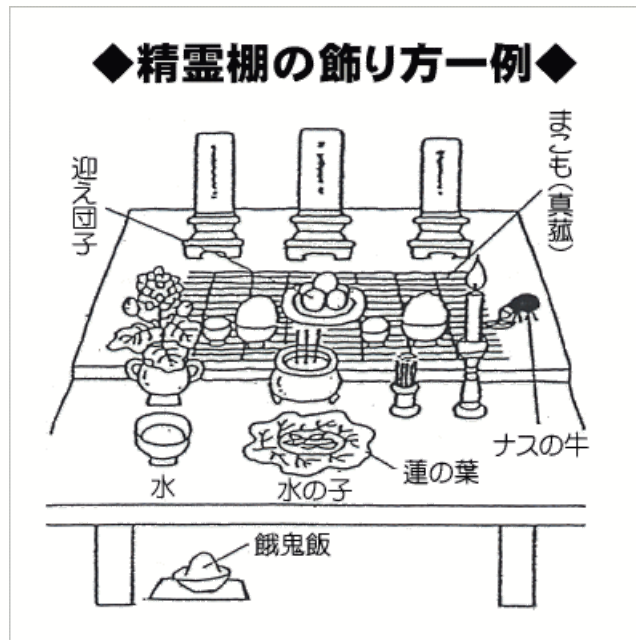


普仙寺だより

<<

>>

第158号 平成20年7月



お盆の精霊棚の一例。
机に真菰(まこも)を敷き仏壇の中からお位牌を移します。
香炉・灯明・花立・水向け皿・水の子・茄子の牛・胡瓜の馬。

800年前の法然上人

今から800年前、承月2年(西暦1208年)の7月、法然上人の周辺ではどのようなことがあったのでしょうか。
法然上人は、後鳥羽上皇の命によって四国流罪となり、前年の3月16日京都を出発して讃岐生福寺に留まられていました。
同年12月8日、流罪を許す命が下りました。しかしながら、京都に戻ることは許可されず、摂津の国勝尾寺に行くこととなりました。
800年前の今月、おそらく法然上人は、勝尾寺に居られたと思われます。

嘉禄の法難、選択集拝読と念仏行脚案内

去る6月22日、嘉禄の法難の日に、知恩院参拝と『選択集』拝読を行いました。知恩院拝読堂、勢至堂をお参りし、御廟前拝殿にて、午前中『選択集』第8章まで、昼食後第16章まで拝読し、『選択集』全部を拝読しました。参加者は加藤良光と河合正恵の2名でした。



平成20年6月22日嘉祿の法難、『選択集』拝読
知恩院勢至堂にて 左・河合正恵さん、右・加藤良光

住職加藤良光三河教区普通講習会の講師

去る7月2日、住職加藤良光は、岡崎市九品院で開催された本年度三河教区普通講習会で講師を務めました。「法然上人二十五霊場の詠歌について」と題して法然上人二十五霊場の歴史と、三河の番外寺院を解説しました。



平成20年7月2日 三河教区普通講習会
住職加藤良光講演 岡崎市九品院にて

第43回 暁天講座

混迷を続ける現代に生きる中で、感動を求めて、清々しい朝のひと時、現代の課題を凝視し、府会進行に生きられる先生方のお話を友に聴聞させていただきたく、今年度の「暁天講座」を下記の通り開催致します。お誘い合わせのうえご聴講ください。

※お車でご来場の方は、豊橋別院花園駐車場に駐車してください。講演終了後、駐車券を配布します。

とき

平成20年7月22日(火)、23日(水)、24日(木)

毎朝6時～7時

ところ

豊橋市花園町 真宗大谷派 豊橋別院

7月22日(火) 阿弥陀仏ここを去ること遠からず

真宗大谷派 本澄寺 榑野 明仁(なぎの あきひと)師

昭和45年生まれ、三河スーパー絵解き座を率いる座長。ハーレーに乗り、Rock&Rollでツイストを踊り、寺院子ども会で自作自演の人形劇に子どもたちと遊び…。楽しいことの積み重ねから、気がつけば、愛知万博の大舞台に立っていました。寺に生まれ育ち、生活しているうちにこびりついた垢を、万博はみごとに払い落としてくれます。寺の常識は世間の非常識。世間とのずれはそのまま寺の体質と課題を与えています。そういう意味で、いま、江戸以来手つかずにしてきた寺の可能性は無限大だ！

いま、“絵解き”が“ヤバイ”！！今回はなんと琵琶法師となって弾き語りをしていただきます。

7月23日(水) 本当の幸せについて

大谷大学 真宗学教授 水島 見一(みずしま けんいち)師

現代は飽食の時代であると言われ久しい間、物質的には非常に恵まれているようですが、その反面、環境は汚染され、昨今頻繁に起こっている強盗、自殺、殺人と精神的に不安と動揺をかくしえぬ時代相であり“心の豊かさ”を求めている証でもあります。「本当の幸せについて」お話いただきます。

7月24日(木) 生活の中の仏教

仏教評論家 ひろさちや師

1936年大坂生まれ。東京大学文学部印度哲学科卒業、同大学院博士課程修了。気象大学校教授を経て、現在、評論家、仏教を学び実践する「まんだらの会」を主催。大乘仏教の神髄を、平易勝つユーモア溢れる文章と明晰な論理で語り、多くのファンを持つ。

第42回 平成20年度おてつぎ信行奉仕団のおすすめ

おてつぎ信行奉仕団は、浄土宗のふるさと、法然上人の御廟のあります京都総本山知恩院を参拝し、そして身と心での信行一体の奉仕を通じて、お念仏によって生かされている喜びを肌身に感じていただくと共に、同信同行の浄友と手を携えて、家庭や社会の浄化と福祉に寄与しつつ、念仏信仰を更に深め、また同信の輪を広めていくことを目的として行われています。

主催・三河教区豊橋組

日時

平成20年10月15日(水)～16日(木)1泊2日

集合場所・時間

1. 勢川 6:30 → 吉田方小前 6:35 → Aコープ前 6:40 → 悟真寺前 7:00
2. 普仙寺 6:20 → 金光寺 6:30 → 元船町サークルK 6:40 → 悟真寺前 7:00
3. 高林寺 6:10 → 源立寺 6:20 → 太蓮寺 6:40 → 悟真寺前 7:00

交通機関

貸し切りバス 3台

会費

1名 23,000円

バス代・回向料・保険料・拝観料・記念写真・昼食代等

行程

第1日

悟真寺前(7:00)－豊川IC－東名・名神－京都東IC(11:00)－知恩院着 結団式・記念写真・大殿参拝・昼食・別時礼拝・奉仕作業・和順会館・夕食・法話・映画・入浴・就寝(22:00)

第2日

晨朝法要・説教－知恩院(9:30)－京都東IC－草津JCT－甲賀土山IC－櫛野寺(日本最大の座仏観音、十一面観音、坂上田村麻呂の等身毘沙門像他、重文指定仏像20体)－土山IC－亀山IC－関ドライブイン(昼食)(12:00～13:00)－亀山IC－桑名IC－光徳寺(知恩院第27世徳譽光然僧正開山)(13:45～14:15)－湾岸桑名IC－豊川IC－悟信寺(17:00ごろ)－各乗車地

申込

所定の「申込書」に参加費などを添えて所属寺院にお申し込みください。

締切

平成20年9月30日(尚、定員になり次第ご遠慮願うこともあります)

その他

- ・ 本山で参加者一人一霊御回向していただけますが、特に別回向を希望される方は申込書に冥加料を添えてお申し出下さい。
- ・ 1日目の昼食は知恩院で接待していただきますのでお弁当はいりません。
- ・ 奉仕作業をしますので作業に適した服装を御用意下さい。
- ・ 洗面用具、筆記用具、持薬等各自必要なものはご準備下さい。
- ・ 念のため健康保険証(両面コピー)をご持参ください。
- ・ 晨朝法要は相当冷えますので暖かい服装をご用意ください。
- ・ 御集印は御朱印紙にてお願いしております。
- ・ 参加回数が5・7・10・15・20・25・30・35・40回目のたびに知恩院より表彰されます。

寺行事案内

盆大施餓鬼会(ぼんだいせがきえ)

平成20年7月29日(日) 午後1時～午後6時半

時間申し込みをして下さい。

詳細は6月号にあります。

お盆の棚行(おぼんのたなぎょう)

8月1日より15日まで

日程・時間は葉書にてご通知します。

お盆の迎え方

8月13日

1. 盆棚飾り

小机または膳引き板に真菰(まこも)の籩(むしろ)または葎(ござ)を敷き、仏壇の中らご先祖のお位牌をお移して安置します。

天井より女竹または芋殻(おがら)を水平に吊るし、五如来の幡(はた※1)や、鬼燈(ほおずき)を掛けます。

お位牌の前には、香炉・灯明・花立て・霊供膳・水向け皿・溝萩(みそはぎ※2)・水の子(みずのこ※3)・茄子の牛・胡瓜の馬・野菜・果物・団子・おはぎ等をお供えします。

※1 幡(はた)

盆大施餓鬼の際にお渡しします。

※2 溝萩(みそはぎ)

水向けの為の草花・ミソハギ科の多年草で

淡紅紫色の六弁小花を長い穂状に密生させている。

溝萩がない場合は南天の葉で代用します。

※3 水の子(みずのこ)

茄子のサイの目切りと洗米を混ぜたものを蓮の葉に盛りつけます。

2. 提灯飾り

お迎え提灯・家紋提灯

3. 迎え火

先にお墓の前でタイマツを焚き、次ぎに自宅門前でタイマツを焚きます。

4. お供物

迎え団子・お水をお供えしてお精霊(しょうろう)さまをお迎えます。

8月14日

3度のお膳、菓子・果物・野菜など

8月15日

1. 3度のお膳、菓子・果物・野菜など

2. 送り火

先に自宅門前でタイマツを焚き、次ぎにお墓の前でタイマツを焚きます。

3. お供物

お供物(なまもの)を普仙寺門前の納め所へ納めます。

8月16日

1. 灯籠流し

牟呂市場町の柳生川の河岸にて、夜7時より。

初盆の方は無料。材料を8月13日に普仙寺で配布します。

初盆以外の方は、材料代500円。本堂に置いておきます。

8月25日

1. 魂まつり(提灯納め)

豊橋仏教会主催行事。

松葉公園にて午後5時より7時まで。

納め料2,000円以上。